

IAI日本支部1999年度第3回セミナー  
实用期を迎えたIAI/IFC  
~~実証実験と今後の展開~~

## IFCの今後の計画

99/11/02

IAI日本支部技術統合委員長  
構造計画研究所  
高本孝頼

IAI日本支部1999年度第3回公開セミナー

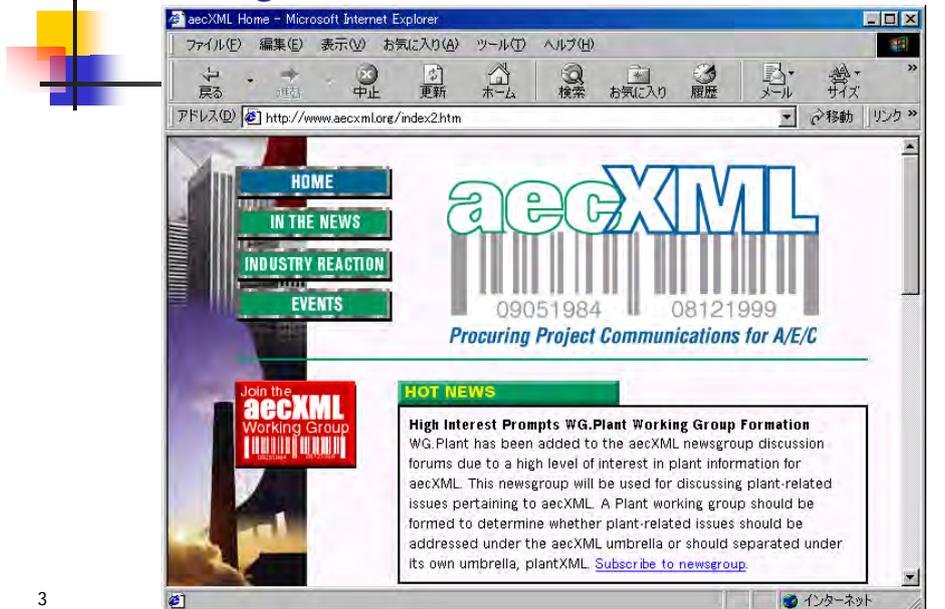
## ITM#13での決議

- R2. X(R3. 0のプラットフォーム)の開発の再確認
  - MSGがR2.X開発に関して明確化する内容を12月1日までまとめ、12月18日にITMなどで決議予定
- aecXMLとのコラボレーション
  - IFCでもXMLとのデータ交換の必要性を強調(ドイツ語圏支部、日本支部、オーストラレイシアン支部、シンガポール支部、北欧支部が主張)
  - 北米支部がaecXMLとのコラボレーションを提案(aecXMLとは、ベントレー社などを中心に発足した建設分野でのXML仕様をまとめる団体)

## 参考: aecXMLホームページ

IAI日本支部1999年度第3回公開セミナー

www.aecxml.org



IAI日本支部1999年度第3回公開セミナー

## IFCのオープン化

- EXPRESSコードを一般にIAI Web/FTP サイトで公開
- 仕様書(ドキュメンテーション)のオープン化
  - オープン化を行っているaecXMLとのコラボレーション関係より
  - 非会員への仕様書の販売(各支部ごと、最低は年会費)

4



## 技術的検討事項1

- クロス・バージョン・マッピング開発
  - 各リリース間のマッピング(特に現時点では、R1.5.1とR2.0)
- IFC R3.0/IFC 拡張プロジェクトの検討
  - 各支部からの計画要望書をまとめ・提案
- (BLISプロジェクトでのR2.0のアグリーメント提案)

5



## 技術的検討事項2

- プロセス・モデルの統合化
  - これまでのプロセス・モデルが各ドメインごと、リリースごとに個別に開発されてきたことによる不統合性を反省して
  - イギリス支部の Matthew Bacon氏より提案

6



## 日本支部の今後の計画

- インプリのアグリーメント
  - BLISプロジェクトと歩調が必要
- 実モデルによる実証実験
  - ユーザ側とのジョイント
- R4.0の計画
  - 土木・施工のプロジェクト再度提案
  - 新たなプロジェクト？